

ThreePro Group

- 第33期定時株主総会 -



開 会 宣 言

○監査報告

○事業報告

- ・ 2009年10月期 業績報告（高野）
- ・ スリープログループ概要 （高野）
- ・ 役員紹介
- ・ スリープログループの企業文化 （佐々木・坂巻）

- ▼ I T 支援事業
 - ・ 営業 販売支援部門 （四元）
 - ・ 導入・設置・交換支援部門 （熊坂）
 - ・ 運用支援部門 （武田）
 - ・ 地域展開 （松家）
 - ・ I T 支援事業総括 （水口）

- ▼ 教育支援事業
 - ・ 学習支援部門 （貞方）

○今後の展望 （高野）

○決議事項

議決権数の報告

監査報告

招集ご通知 53～54ページ

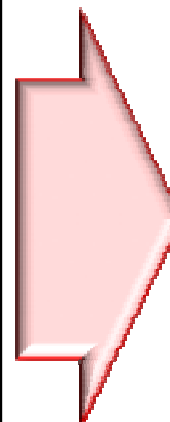
事業報告

2009年10月期 連結計算書類報告

2009年10月期 連結業績

(単位：百万円)

	08/10期 実績	09/10期 実績	増減率
売上高	10,855	10,028	△7.6%
売上総利益	2,774	2,230	△19.6%
販売管理費	2,581	2,220	△14.0%
営業利益	192	10	△94.8%
経常利益	228	35	△84.6%
当期純利益	82	△493	—



2009年10月期 連結業績 要因分析

※2008年10月期は子会社決算期の変更に伴い13カ月間の実績を取り込んでいます。

(単位：百万円)

08/10期
実績

09/10期
当初予想

09/10期
実績

増減率

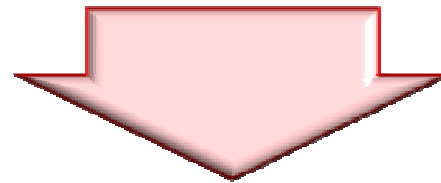
売上高

10,855

10,500

10,028

△7.6
%

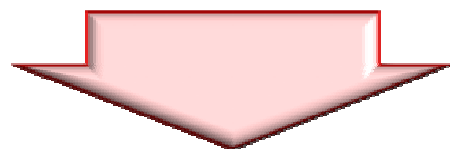


✓景気低迷による厳しい事業環境の中、営業・販売支援サービスは健闘し、前年比14.2%増となるも、他のサービスが振るわず売上全体として7.6%の減収。

2009年10月期 連結業績 要因分析

※2008年10月期は子会社決算期の変更に伴い13カ月間の実績を取り込んでいます。

(単位：百万円)	08/10期 実績	09/10期 当初予想	09/10期 実績	増減率
売上原価	8,081	7,826	7,798	△3.5 %
販売管理費	2,581	2,534	2,220	△14.0 %



- ✓人材募集費用の削減など、売上原価を3.5%改善
- ✓人員構成も含めた徹底した見直し
- ✓販管費は前年同期比14.0%低減し、販管費率も22.0%と1.7%改善した。

2009年10月期 連結業績 要因分析

※2008年10月期は子会社決算期の変更に伴い13カ月間の実績を取り込んでいます。

(単位：百万円)

	08/10期 実績	09/10期 当初予想	09/10期 実績	増減率
営業利益	192	140	10	△94.8 %
経常利益	228	120	35	△84.6 %
当期純利益	82	50	△493	—

特別損失の内訳

主内容はのれんの減損 418百万円

スリープロテクノロジー(株)	223
スリープロネットワークス(株)	84
(株)ホーム・コンピューティング・ネットワーク	24
(株)ウィザード	70
(株)キャリアインパルス	15 (百万円)

2009年10月期 連結貸借対照表のご説明

招集ご通知 29ページ

資産の部

総資産

4,009百万円 【前年比】 △315百万円



- ・ 第4四半期での売上の低迷による、売掛金・現金および預金の減少
- ・ 電気・通信工事案件増加による未成工事支出金の増加

負債の部

3,023百万円 【前年比】 312百万円



- ・ 短期借入金から長期借入金に変更
→ 資金繰りの安定化促進が目的

純資産の部

986百万円 【前年比】 △627百万円

- 
- ・ 特別損失による利益剰余金の減少
 - ・ 自己株式保有率の増加

2010年10月期 連結業績予想

(単位：百万円)	09/10期 実績	10/10期 予想	増減率
	売上高 10,028	10,500	4.7%

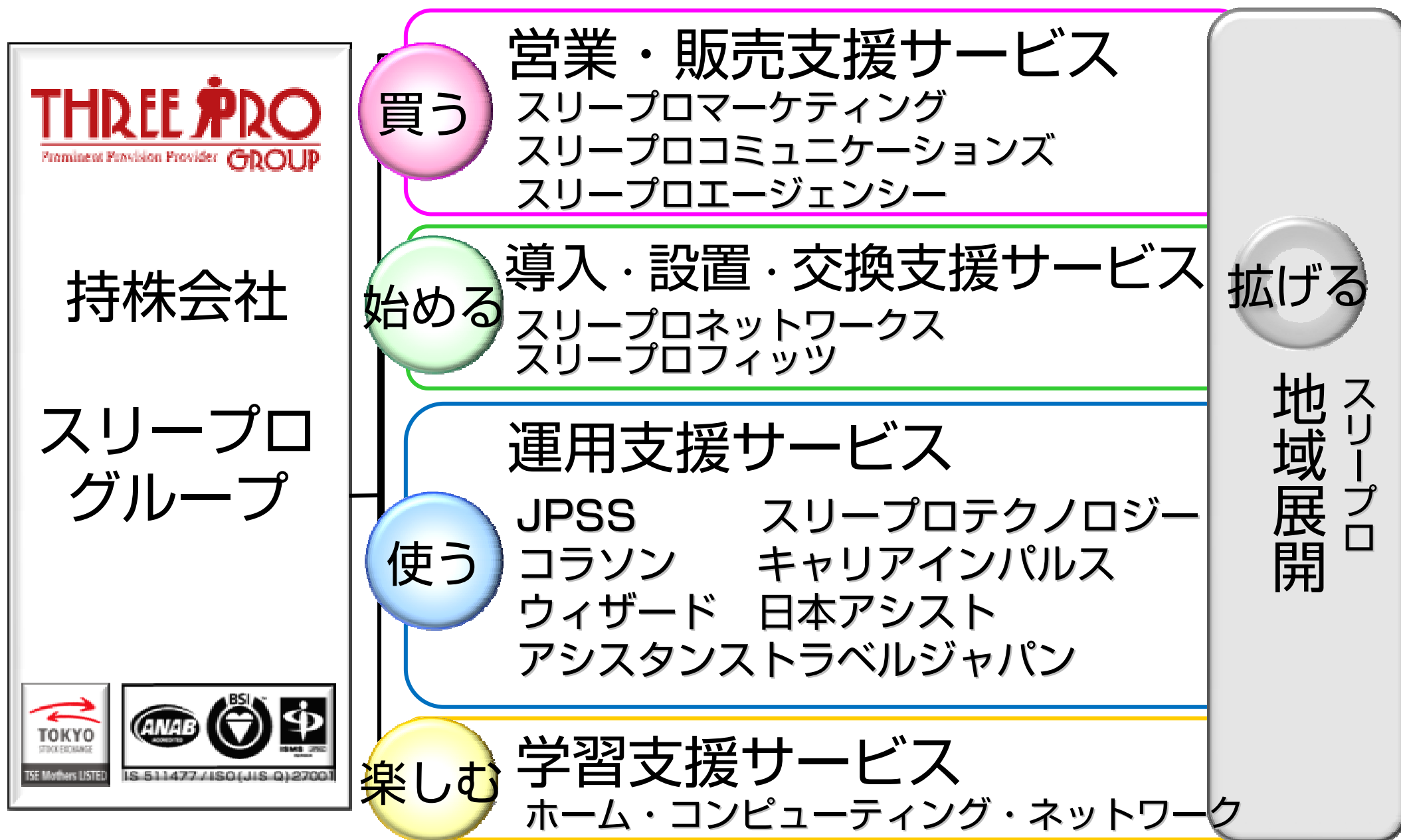
**確実に黒字化！
 復配を目指します！**

営業利益	10	30	200%
経常利益	35	40	14.3%
当期純利益	△493	17	—

スリープログループとは

スリープログループの15社による組織体制

※ 2010年1月1日現在



スリープログループのサービス提供例

買う



**店頭キャンペーン実施
加入促進営業の実施**

始める



**戸宅への回線引込み工事
IT機器の訪問サポート**

楽しむ



**シニアへの生涯学習
パソコンの活用**

使う



**申し込み受付ダイヤル
故障時の電話サポート**

スリープログループのサービス提供イメージ

THREE PRO
Prominent Provision Provider GROUP

取引先企業

一般個人

買う

始める

支援

使う

楽しむ

営業・販売
支援

導入・設置
・交換支援

運用
支援

学習
支援

拡げる

市場創造サポーター

THREE PRO
Prominent Provision Provider GROUP



全国95,000人のエージェント

質疑応答

役 員 紹 介

取締役フアウンダー 竹 中 正 雄



1959年 (株)小松製作所入社
1977年 (株)シーサンディ
(現当社) 設立
1989年 (株)印刷アド
代表取締役社長 (現任)

経営者の大先輩として、代表の高野
を育てる。自他共に認める海の男。

代表取締役兼グループCEO 高野 研



1975年5月17日生まれの34歳。
石川県金沢市生まれ、神戸市育ち。

立命館大学2年生のとき、阪神・淡路大震災に遭う。震災に打ちひしがれる中、復興活動を先導する神戸出身の起業家に感銘を受け、起業家を志す。

取締役 久保 裕



1993年 (株)三菱総合研究所入社

2001年 (株)ゲームオン設立

代表取締役就任

2002年 (株)フルキャスト入社

2009年 日本プロセス(株)取締役就任

当社上場以来の取締役として、
歯に衣着せぬ率直な意見を提言。

【就任8年目】

取締役 梅村 正義



1983年 (株)リクルート入社
1995年 同社HRM (Human
Resource Management) 室
主任研究員
1999年 (株)イプセ設立
代表取締役就任

【就任4年目】

親しみやすい人柄と親分肌を兼ね備えた
組織人事のプロフェッショナル。

取締役常務執行役員 水 口 雄



1976年 (株)ダイワスポーツ入社
1996年 (株)クロス・オブ・ジャパン入社
1999年 マースジャパン入社

当社営業・販売支援サービス部門
担当執行役員を経て、現在はグループ
全体の営業統括を行う。

新任取締役候補者 橋本雅美（田嶋雅美）

Franchise
Advantage



1996年

(株)フランチャイズアドバンテージ設立
代表取締役就任(現任)

1999年 当社取締役就任

チェーンビジネスのプロフェッショナルとして多くの企業をサポート。
上場前にも当社取締役を務めた、熱く厳しい“男っ前”コンサルタント。

新任取締役候補者 田 中 良 一



1981年

(株)ベネッセホールディングス入社

1990年

Berlitz International, Inc副社長

2004年

(株)ベルリッツジャパン 代表取締役

2005年 (株)アビバ取締役副社長（現任）

英会話学校 ベルリッツを国内大手英会話教室に成長させる。現在はパソコン教室運営の(株)アビバで活躍中。

新任取締役候補者 出張勝也

 **Odyssey**
COMMUNICATIONS



1984年 一橋大学法学部卒業
1987年 ハーバード大学
ビジネススクール卒業

1996年
(株)オデッセイコミュニケーションズ
設立、代表取締役社長(現任)

“ITがすべての人たちのものになること”をミッションに、マイクロソフト認定資格試験の運営を行う。

監査役 木村 公一



1962年 日商岩井(株)入社
1985年 (株)神戸製鋼所入社
1992年 高压ガス保安協会入社

商社マンとして、世界を股にかけて活躍。当社上場前から監査役を務め、ご意見番として時に厳しく、時に優しく、社員を見守る。

【就任8年目】

監査役 佐久間 裕幸



1986年

監査法人中央会計事務所入社

1996年

公認会計士・税理士佐久間裕幸事務所開設

税務・会計のプロフェッショナル。
個人ブログでは、税務・会計・音楽
など幅広い分野について情熱的に書
き綴る。

【就任10年目】

監査役 五十嵐 幹也



【就任4年目】

1968年

富士法律・特許・会計事務所開設

1998年

学校法人サンモール

インターナショナルスクール幹事

公認会計士として豊富な知識と、細やかな視点で、当社の監査を行う。

監査役 太原正裕



1983年 (株)東京都民銀行入社
1999年 (株)SBUマネジメント取締役
2007年 城西大学准教授

都民銀行時代は、国際金融を担当。
幅広い知識とリズミカルなトークで当
社社員からも慕われる。

【就任2年目】

営業・販売支援部門 担当執行役員
四元 龍介



導入・設置・交換支援部門 担当執行役員
熊 坂 尚 夫



運用支援部門 担当執行役員
武 田 知 之



学習支援部門 兼 地域拠点統括担当執行役員
松 家 一 貴



学習支援部門 担当執行役員
貞 方 渉



役員紹介

グループ本部 担当執行役員
佐々木 隆宏



グループ本部 担当執行役員
坂 巻 詳 浩



スリープログループの企業文化

グループ本部担当執行役員：佐々木 隆宏
坂巻 詳浩

行動指針（スリープロバリュー）の導入



スリープロバリュー

- ・ ALL YES
- ・ セルフモチベーション
- ・ GIVE & GIVE
- ・ 成果が報酬
- ・ マイバリュー

全社決起集会（キックオフ）の実施

3月下旬にスリープログループ(株)の全社員を日本全国から集めて実施。入社式・表彰を含めた式典調の1部と、懇親会の雰囲気での2部、完全飲み会の3部構成にて例年実施。

スリープログループ持株会の積極推進

氏名又は法人名	顕在株数	
	株 数	比 率
高野 研	4,450	23.21%
スリープログループ従業員持株会	1,337	6.97%
日本コムシス株式会社	1,200	6.26%

正社員の98%以上が参加！
第2位の大株主へ！

加賀ハイテック株式会社	466	2.43%
-------------	-----	-------

個性豊かな子会社社長 11人の輩出



次々に生まれる経営者により
新たなビジネス創造へ



買う

営業・販売支援サービス

担当執行役員：四元 龍介

サービス提供会社
スリープロマーケティング（株）
スリープロコミュニケーションズ（株）
スリープロエージェンシー（株）

◎ 営業のアウトソーシング ◎



目的は『受注』。営業支援のノウハウをフル活用し、企業の営業部門同様にマニュアルの作成・研修から商談・受注まで改善を繰り返しながら営業活動を行います！

◎ 販 促 の ア ウ ト ソ ー シ ン グ ◎



目的は『販促』。人に関わる教育管理や販売促進、営業支援の効果測定など企業側の負荷軽減を実現し「業務実施ノウハウ」「組織運営力」を付加価値として売上、販売の向上に貢献します！

営業販売支援サービスの業績

2009年10月期
期初予想

売上高

2,749

売上総利益

560



※2008年10月期は子会社決算期の変更に伴い
13カ月間の実績を取り込んでいます。

2009年10月期
実績

2008年10月期
実績

増減

売上高

3,139

2,748

+14.2
%

売上総利益

565

575

△1.7%

09/10期 外部環境と施策

【環境】 景気減速による消費者購買の減少

【施策】 提案と実行機能の総合的な提案による
受注拡大及び業種拡大による受注拡大

【施策】 営業支援サービスの西日本エリア展開強化

業績のポイント

- 成果報酬型営業支援分野において中部・関西・九州地域での展開拡大に伴う受注の大幅増加
- 法人顧客へのフォロー営業が順調に推移

	09/10期実績	10/10期業績予想	増減
売上高	3,139	3,330	6.1%
売上総利益	565	663	17.3%

<受注環境>

- ・ 価格競争加速、サービス品質への要求の高まり
- ・ キャンペーン・プロモーションサービスの需要は不調

<具体的な施策>

- ・ 成果報酬型営業支援で地方への展開加速
- ・ サービス品質の向上・専門性を高める研修強化

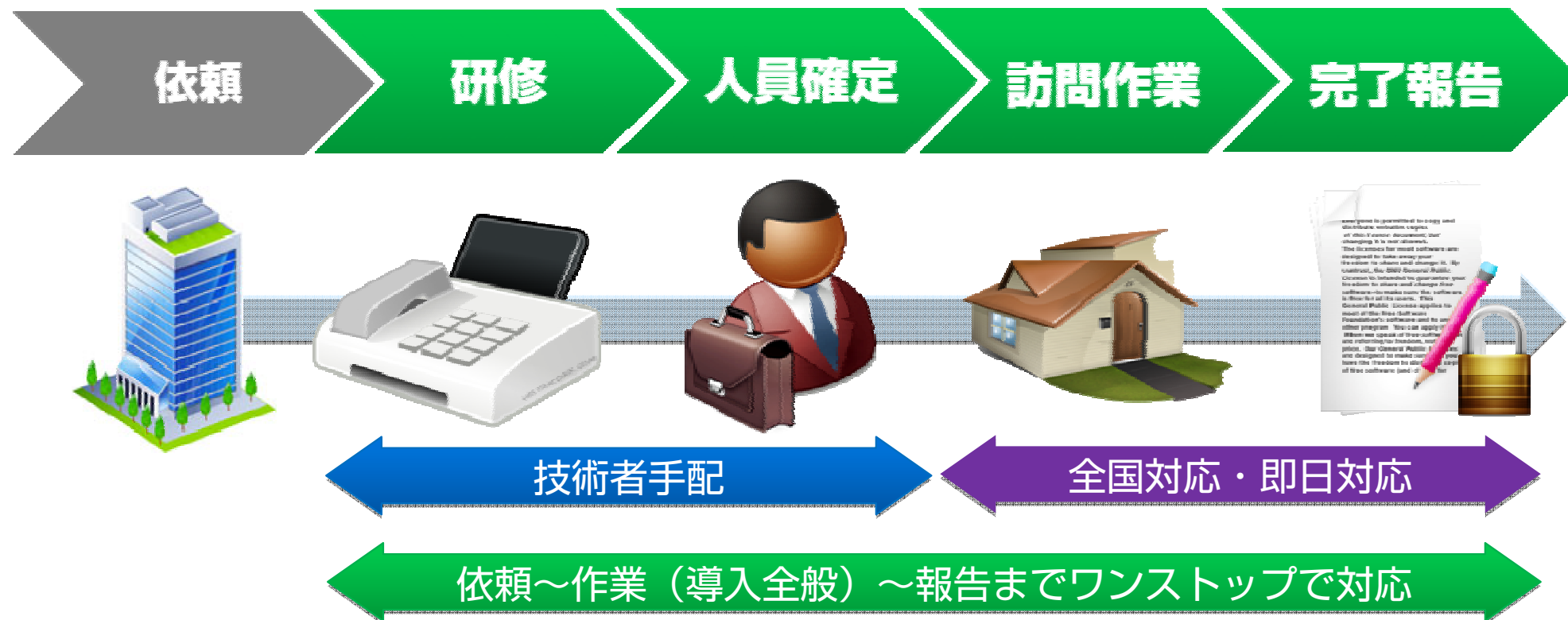
始める

導入・設置・交換支援サービス

担当執行役員：熊坂 尚夫

サービス提供会社
スリープロフィッツ（株）
スリープロネットワークス（株）

◎ 導入・保守のアウトソーシング ◎



**創業時から培った事業ノウハウをフル活用し、
依頼企業様のお取引先へのIT機器設置全般業務をバックアップ
設置先の顧客満足度向上を意識し、サービス展開を行います！**

導入・設置・交換支援サービスの業績

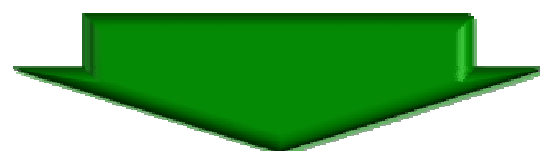
2009年10月期
期初予想

売上高

3,247

売上総利益

1,049



※2008年10月期は子会社決算期の変更に伴い
13カ月間の実績を取り込んでいます。

2009年10月期
実績

2008年10月期
実績

増減

売上高

2,818

3,297

△14.5
%

売上総利益

720

1,057

△31.9
%

09/10期 外部環境と施策

【環境】 企業各社における設備投資への慎重姿勢

【施策】 工事＋設置といった複数サービス連携
による営業体制構築・推進

【施策】 地方拠点の業務における運営体制の再構築

業績のポイント

- 設備投資・案件の先送りや縮小による売上・利益減
- サービス品質向上を目的とした事前研修費用の増加
- 業務提携先である通信建設業界大手各社における携帯電話基地局工事受注等、連携業務が拡大

	09/10期実績	10/10期業績予想	増減
売上高	2,818	2,966	5.3%
売上総利益	720	711	△1.3%

<受注環境>

- ・ 景況感によるIT設備投資時期の遅延や見直しの動き
- ・ 個人向けサポート案件数減少は下げ止まり感
- ・ 大手通信建設業界における再編の動き

<施策>

- ・ 資本提携先の大手通信建設業界との
公共系案件獲得に注力
- ・ 高スキル・高付加価値サービスへの移行
- ・ 社内の研修、資格取得、
キャリアパスの構築

使う

運用支援サービス

担当執行役員：武田 知之

サービス提供会社

(株) JPSS

スリープロテクノロジー (株)

(株) コラソン

(株) キャリアインパルス

(株) ウィザード

(株) 日本アシスト

(株) アシスタンストラベルジャパン

◎ 運用部隊のアウトソーシング ◎



**目的は『電話対応』。パソコン・ソフトウェアなど
IT系のサポートにノウハウを持っております。
1社1社に合わせた柔軟なサービス提供に定評があります。**

◎ 人材のアウトソーシング ◎



**目的は『即戦力』。創業時の事業ノウハウをフル活用し、
IT以外の人材全般の派遣業務を全力支援！
人材紹介サービスなど企業の採用活動を支援。**

運用支援サービスの業績

2009年10月期
期初予想

売上高

4,198

売上総利益

850



※2008年10月期は子会社決算期の変更に伴い
13カ月間の実績を取り込んでいます。

2009年10月期
実績

2008年10月期
実績

増減

売上高

3,710

4,345

△14.6
%

売上総利益

700

847

△17.4
%

09/10期 外部環境と施策

- 【環境】 業績悪化による人員縮小、
就業日数の短縮企業の増加
- 【環境】 一部メーカーで減産の影響に下げ止まり傾向
- 【施策】 M & A ・ 営業譲受などによる機能・体制
強化による新規業界・クライアントの開拓

業績のポイント

- 売上・収益性向上に貢献する営業受注促進を行うサービスの展開
- スタッフの募集・採用コスト抑制

	09/10期実績	10/10期業績予想	増減
売上高	3,710	3,912	5.4%
売上総利益	700	747	6.7%

<受注環境>

- ・ 人材サービス全般の業務縮小傾向
- ・ 外注縮小、自社運営への変更の動き

<具体的な施策>

- ・ 売上・収益性向上に貢献する
アウトソーシングの積極推進
- ・ 首都圏モデルを応用した
日本全国へのサービス展開

拡げる

地域展開

学習支援部門兼 エリア統括

担当執行役員：松家 一貴

サービス提供会社
スリープロ（株）

地域展開について

◎ サービスの全国展開を推進 ◎

-全国8拠点-

札幌・仙台・東京・静岡

名古屋・大阪・広島・福岡



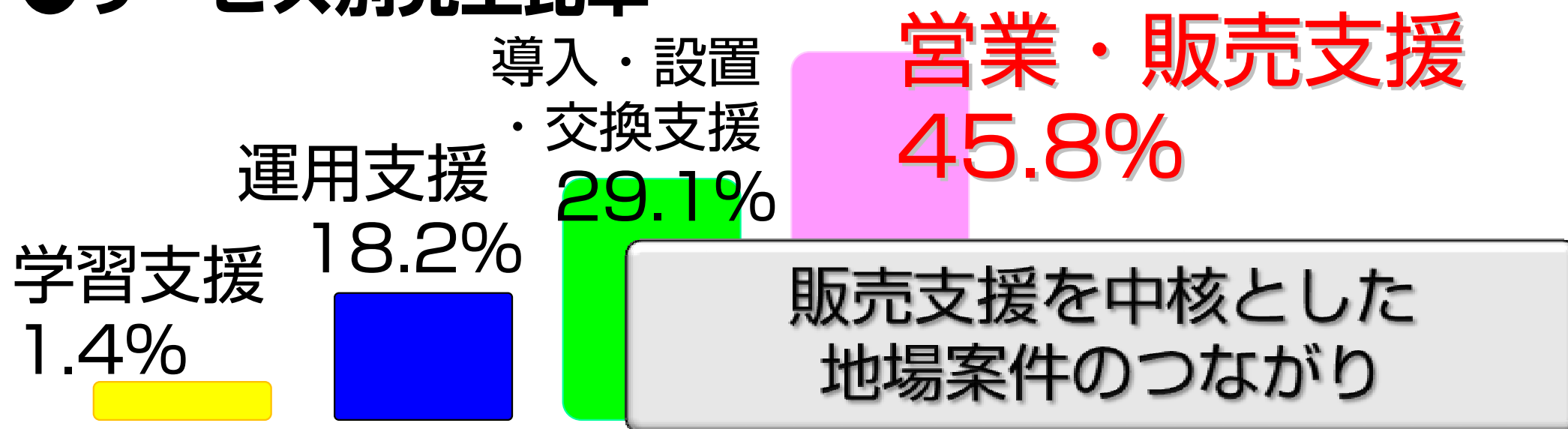
スリープロの強みでもある全国展開を
効率的に運営すると共に、各拠点へ
4つのサービスの導入を推進します！

地域拠点のポイント

●対東京比較売上比率



●サービス別売上比率



サービスの新規展開

【仙台・名古屋・大阪】

- ・成果報酬型の営業支援サービスの積極展開

【仙台・静岡・名古屋・大阪】

- ・資格取得スクールの新規展開

【札幌】

- ・導入・設置・交換支援サービスの体制構築

M&Aによる地場企業の取り込み

- ・中部圏の人材紹介業を手がけるキャリアインパルス

10年10月期の注力点

- ・ 成果報酬型営業支援サービス拡充
- ・ 教育支援サービスの展開
- ・ 日本アシストの子会社化による営業展開
- ・ 通信建設業界各社との取引の全国展開

IT支援サービスの総括

担当執行役員：水口 雄

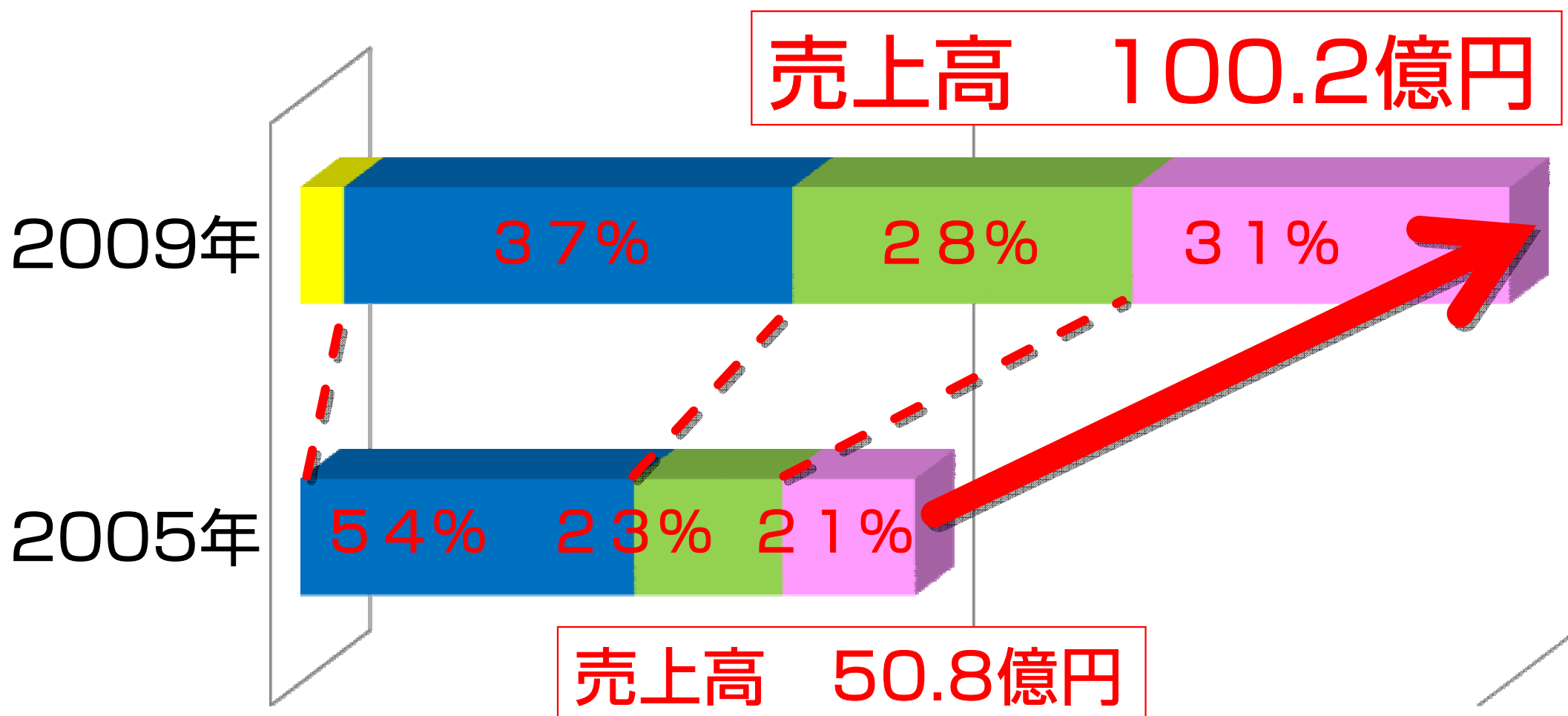
現在審議中の法改正の要点

- ① 登録型派遣の専門業務以外の禁止
- ② 2か月以下の派遣の原則禁止
- ③ 製造業向け派遣の原則禁止
- ④ グループ会社内派遣への規制

短期的な影響は軽微！

当社の想定リスクおよび対応

- ①、② 禁止の可能性のある業務は契約形態の変更
- ③ 売上規模自体が極めて小さく影響は軽微
- ④ 1つの派遣先へ8割を超える割合は無し



売上規模拡大、バランスの取れた構成へ

複合サービス提供

製品・サービスの
プロモーション



電気・通信回線
工事など
インフラ構築



困った！
わからないを
親切サポート

スリープロの
全サービスを活用
したサービス提供

新セグメント 教育支援事業の展開

学習支援部門 担当執行役員：貞方 渉

社会環境

金融不安を皮切りにした世界的不況



派遣切りをはじめとした
雇用調整の動き拡大

事業環境

企業視点の「採用支援」から
働く人視点の「雇用支援」へ

シニア向けパソコン教室とIT機器の安心サポート

パソコン教室 ホームコンじゅく

～ 100 回同じ質問をしても、100 回笑顔で答えてくれる～

- ・ 少人数制の対面学習
- ・ 楽しむことが目的の
コミュニティ



レスキューミー!

「突然パソコンが動かなくなりましたが、データを取り出したい!」
「パソコンの調子が悪いので見て欲しい!」

- ・ IT機器のサポート
- ・ パソコントラブル解決
(電話・訪問・持込)



※2008年10月期は決算次期の変更に伴い13カ月間の実績になります。

	08/10期 実績	09/10期 実績	増減	10/10期 業績予想
売上高	463	361	△22.0 %	292
売上総利益	293	244	△16.7 %	124

09/10期 外部環境と施策

【環境】 景気動向を反映してPC教室需要はやや低調

【施策】 営業体制の再構築、開業地の選別強化

09/10期のトピックス

- ・2009年1月に(株)大栄総合教育システムと事業提携
- ・資格取得スクールを国内主要拠点に4校開校

西日本地方の基盤を中心に全国60校展開
創業38年の大手資格取得スクール

- 卒業生数**100万人**、
受講生常時**2万人**の大型ネットワーク
- 資格取得スクールの教室数は**全国60校**、
LECに次いで**第2位**、関西地方では**第1位**



- ・ 大栄総合教育システムと
キャリアデザインセンターを開設
- ・ 『資格取得支援スクール』を
全国4拠点にて新規開校
- ・ 「iPhone 3G」を活用した教育支援
ツールを大栄総合教育システムに導入発表

パソコン教室業界大手、全国119校展開
小中高から社会人、法人研修も提供

- マイクロソフト認定資格（MOS／MCAS）
年間受験者数 **2年連続NO1!!** ※1

※1：2009年1月 法人別全教室での受験者合計 株式会社オデッセイコミュニケーションズ調べ

- パソコン教室数は**全国119校**、
小中高向けパソコン教室は**全国300教室**展開

3社連携による学習ビジネス

スリープログループとアビバは共同で
全国100教室へ向けて資格取得スクールを展開

DAIEI

教育コンテンツ開発

THREE PRO

Prominent Provision Provider GROUP

運営ノウハウ提供



AVIVA
アビバ

教室運営

DAIEI AVIVA

大栄アビバ

全国100教室

オンデマンドによる
資格取得講座の提供

資格取得
教育市場

2,400億円※

シニア

主婦・社会人

学生

※ 矢野経済研究所調べ
2008年度市場規模

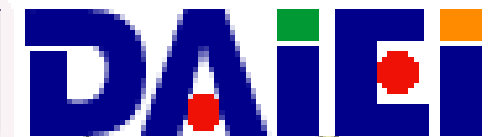
全国600拠点以上

ホームコンジゅく 150教室



アビバ 119教室

大栄総合教育システム 60教室



アビバキッズ 300教室

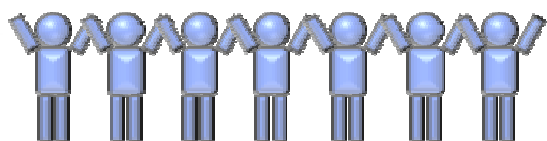
すべての世代へ学習機会を提供

キャリア教育ネットワークの相乗効果

市場創造サポーター

IT支援
サービス事業

THREE PRO
Prominent Pension Provider GROUP



キャリアデザイン
就労機会

高付加価値人材

雇用創造サポーター

教育支援
サービス事業



市場創造

取引先企業

今後の展望

代表取締役兼グループCEO：高野 研

2008年度
教育ビジネス市場
2兆6,000億円

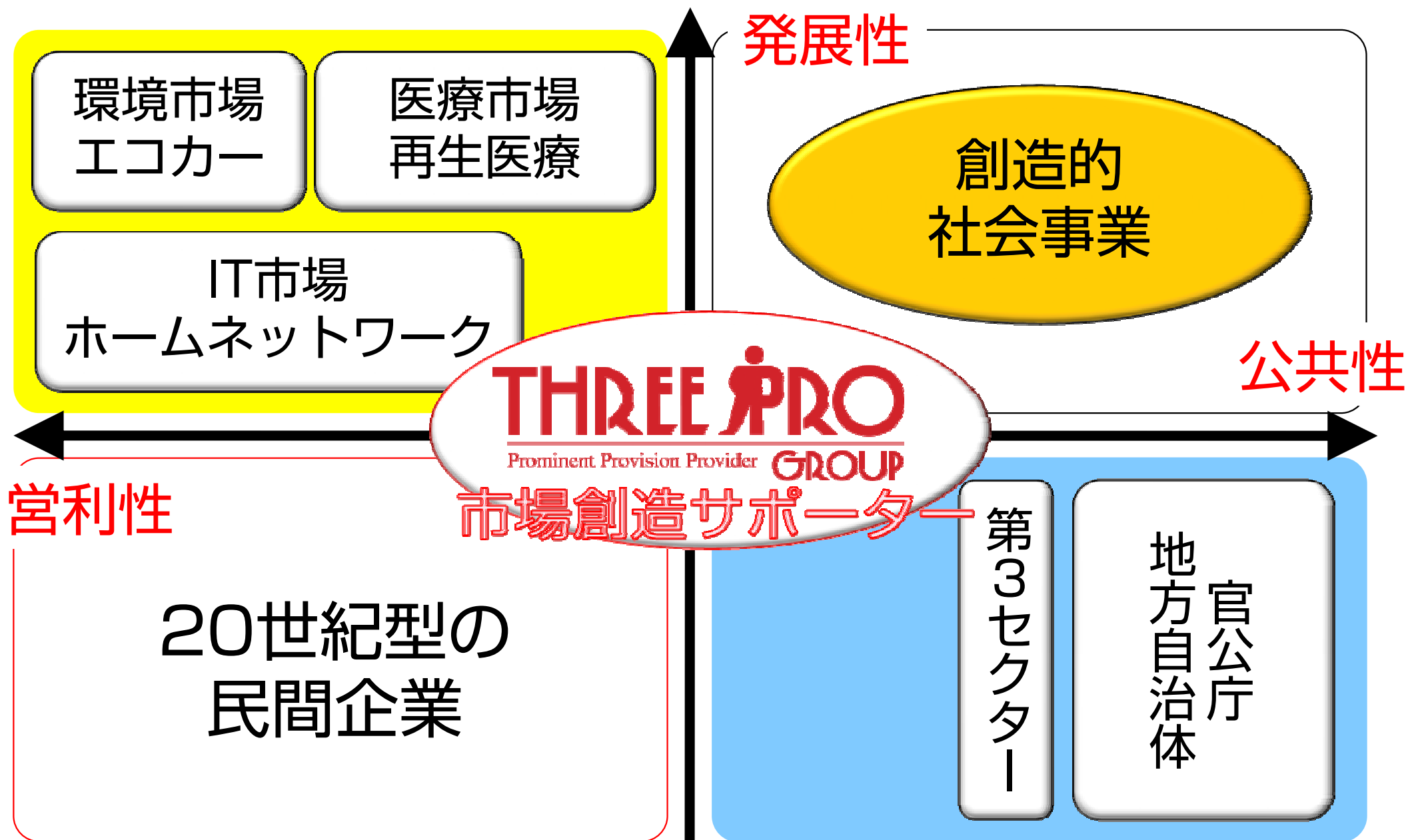
資格取得学校市場
2,400億円

eラーニング市場
1,200億円

企業向け
研修サービス市場
5,600億円

企業視点の「採用支援」から
働く人視点の「雇用支援」へ

※ミック経済研究所 および 矢野経済研究所発表データより作成



決 議 事 項

第1号議案

剰余金の処分の件

招集ご通知 55ページ

剰余金の処分内容

その他資本剰余金

4億1千117万4千992円を減少

繰越利益剰余金

4億1千117万4千992円が増加

第2号議案

定款一部変更の件

招集ご通知 55～58ページ

(目的)

第2条

当会社は、次の事業を営むこと及び次の事業を営む会社（外国会社を含む）、組合（外国における組合に相当するものを含む）、その他これに準ずる事業体の株式又は持分を所有することにより、当該事業会社等の事業活動を支配・管理することを目的とする。

<事業目的の追加>

20.各種資格取得のための企画 及び指導 その他各種教室の経営

<事業目的の追加>

35. 旅行業

36. 旅行代理店業

37. 旅行に関する

コンサルティング業務

第3号議案

取締役8名選任の件

招集ご通知 58～61ページ

取締役候補者

①	竹	中	正	雄
②	高	野	研	
③	久	保	裕	
④	梅	村	正	義
⑤	水	口	雄	
⑥	橋	本	雅	美
	(田	嶋	雅	美)
⑦	田	中	良	一
⑧	出	張	勝	也

質疑応答

- **ご発言を希望される株主様は
挙手をお願いいたします。**
- **「出席票の番号」と「お名前」を
お知らせいただいてから、
ご発言をお願いいたします。**

議案採決

第1号議案

剰余金の処分の件

招集ご通知 55ページ

第2号議案

定款一部変更の件

招集ご通知 55～58ページ

第3号議案

取締役8名選任の件

招集ご通知 58～61ページ

■採決の結果

第1号議案	承認可決
第2号議案	承認可決
第3号議案	承認可決

ご挨拶

**ご清聴いただきありがとうございます
ございました。**

**これからもスリープログループを
よろしくお願いいたします。**

アンケート用紙は、席に置いたままお帰りください。